

# HO YOG

教区新報

2007. 2 150号

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
【編集】教区基推委広報部

発行所

## 阪神・淡路大震災

### 十三回忌法要厳修

六五〇人以上の尊い人命が一瞬にして奪われた「阪神・淡路大震災」から早くも12年の月日が経った。本願寺神戸別院で毎年行われている「阪神・淡路大震災」

物故者総追悼法要」は今年、十三回忌の法要を厳修した。震災で亡くなった方々を偲び、本堂満堂の参拝者があり、午後一時半より正信偈を全員でお勤めし、参拝者全員が



満堂の本堂で講演する山崎龍明師

お焼香をされた。法要後の松村彰道神戸別院輪番は挨拶の中で、「愛する者」と別れること、死別すること、最大の悲しみであり、苦しみであります。災害は一瞬にして、我々はこの現実を突きつけてきます。この問題をどの

山崎氏はまず、二万人大会が必要とあります。」と述べた。法要終了後、阪神・淡路大震災を風化させないため、また震災で亡くなった方々の命日でもあるこの日を「いのちを考える日」として、毎年行われている「1・17いのちを考える研究会」が開催された。講師には、平成16年に開催された御同朋総結集一万人大会で記念講演をいただいた、武蔵野大学教授の山崎龍明師をお迎えした。

最後に、「悲しみを乗り越える」という言葉があります。そうしなければ、悲しみをなかなか乗り越えられません。しかし、悲しみと共に生きることにどうして今度は悲しみに私自身がまた育てられていくのでしょうか。そう気付いた時に私の口から、南無阿彌陀仏というお念仏が出てくださるに違いないと思ふのであります。」と締めくくられた。

閉会の挨拶に立った兵庫教区基推委教学伝道部門代表の竹内俊之氏は、表面は町の区画整理もされ、震災の傷跡が分からないほど復興されたが、心に深い悲しみを抱いた方々がおられます。その事も忘れてはいけません。来年もご参詣くださいと結んだ。

阪神南組 渡邊 顕代

教区だより		2月・3月	
2月		13日(火)	青僧会第2回連続研修会 講師:貴島信行 師 16:00~
1日(木)	寺族婦人会研修旅行 沖縄 2日まで	14日(水)	第3連区青年布教使研修会 京都教区 15日まで
2日(金)	少年連盟役員会 14:00~	15日(木)・16日(金)	別院常例法座 講師:本川英暁 師 16日まで
3日(土)	第5回布教大会 10:00~	17日(土)	仏青近畿研修会 和歌山教区 18日まで
4日(日)	第19回若婦人のつどい 8:30~	21日(水)	僧侶研修会 講師:梯 實圓 師 10:30~
5日(月)	ピハラー泊研修会 まどか園 6日まで	24日(土)	平成18年度連履履修者研修会 10:30~
7日(水)	コーラス推進委員研修 13:00~	25日(日)	仏社単位会長・寺院代表者研修会 10:30~
	別院仏婦定例法座 講師:小村教信 師 13:30~	27日(火)	教区同朋講師・運動推進者養成研修 10:30~
8日(木)	矯正教化大阪管区支部連絡協議会研修会 10:30~	3月	
	保育連盟理事会主任代表者会 14:00~	3日(土)	別院第一土曜仏教講座 講師:林 智康 師 13:30~
9日(金)	平成18年度第2回連研のための研究会 10:30~	20日(火)	別院彼岸会 講師:高澤邦雄 師 22日まで
11日(日)	第3回寺院子弟対象得度者査研修会 12日まで	27日(火)	基幹運動推進委員会総会 10:30~

#### 兵庫教区参与会 「蓮華会」 入会のご案内

兵庫教区参与会「蓮華会」の趣旨・目的は、教区の発展・活性化のために次代を担う青少年の健全な育成・教化と寺院後継者の養成を積極的に援助することにあります。

近頃の青少年がかかわる事件を耳にするたび、このことを強く意識し取り組まなくてはならないのではないかと切に思います。

寺院であれ、門信徒であれ、今の安定は将来の安定を保証するものではなく、青少年の育成は一時もおろそかにしてはならないことを存じます。

どうか蓮華会の趣旨・目的をご賢察賜りご入会の上お力添え下さいますようお願い申し上げます。

詳しくは、「蓮華会」事務局までお問合せください。

〒650-0011 神戸市中央区下山手通8-1-1 電話 〇七八 三四一五九四九 兵庫教区教務所内 「蓮華会」事務局

#### 敬 吊

青野義隆(綱千組大乗寺衆徒) 9月25日、98歳で往生  
辻前君子(氷上東組光明寺坊守) 11月2日、59歳で往生  
梅園博道(阪神南組浄善寺住職) 12月4日、57歳で往生

津川肇道(城崎組明元寺住職) 12月14日、66歳で往生  
山田華子(阪神東組称名寺前坊守) 12月18日、94歳で往生  
楠 照洋(赤徳南組永應寺前住職) 12月31日、80歳で往生

往生 布施誓典(綱千組西照寺前住職) 1月1日、93歳で往生  
本田義可(岡山北當林寺衆徒) 1月4日、67歳で往生  
【敬称略】 1月18日現在

#### Buddhist Woman's Pocketbook

毎年兵庫教区仏教婦人会から発行されています「ブッディストウーマンズ手帳」の2007年版が発行されました。書き込みやすい予定表と、「浄土真宗の教えと作法」や「仏事における金封の種類と表書」といったお役立ち情報も掲載しています。お問合せは下記まで。

◆一冊 450円 (※20冊以上ご購入の場合、送料は無料)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通8-1-1 兵庫教区教務所(担当:山内) TEL 078-341-5949

#### 新職員紹介

このたび、12月1日付けで新職員が入所しました。

萩嶺貴恒 (はぎみねきよつと) 教務所主事・別院参勤として西山別院より転勤

大岡周覚 (おおおかしゅうかく) (おおおかしゅうかく) 教務所主事・別院参勤として、本山宗務情報システムセンターより転勤





私は保育士という仕事をしております。子どもが目の前でパタンとこけたとき、「痛い」と先に叫んであげると、不思議なことに、子どもたちはほとんどの場合、泣かずにケロリとしています。子どもの気持ちを汲み取って、先に声に出すと、子どもたちは自分の気持ちをつかってくれる大人が傍にいることに気がつき、安心できるようです。反対に「大丈夫！大丈夫！」とか「強いね！」と声をかけてしまうと、自分の気持ちをわかってくられていないという不安から泣き出してしまふようです。

私には、私の気持ちを先に汲み取り、私の痛みを分かってくださる阿彌陀様が「南無阿彌陀仏」と声になって、何時でも傍にいてくださっています。しかし、そのことに気付かず、不安になって愚痴ばかりの人生を生きてきました。どうやら私には、阿彌陀様の声が聞こえていかなかったようでありま

# 大遠忌へ向けて決意

## 「ご消息披露全組終了！」

去る、二〇〇六(平成18)年11月14日(火)、岡山南組での「親鸞聖人七五〇回大遠忌」についての「ご消息」披露・記念法座の実施をもって、同年4月14日(金)出石組から始まった、教区内39組全組においての披露・記念法座は御満座を迎えることとなった。

これにより全組で、親鸞聖人七五〇回大遠忌についての「ご消息」披露・記念法座は御満座が行われたこととなり、話し合い法座でも多くの意見質問・要望が出された。

①「七五〇回大遠忌法要



「ご消息」を拝読する松村教務所長

②「宗門長期振興計画について」計画の詳細説明や予算の詳細な使い道について、振興計画への要望(世相に合った地域と寺院との交流、離郷門信徒・青少年・世界の貧困問題への働きかけ)、「人材育成について」子どもたちへの魅力ある寺院活動の継続・実践の困難さ(盲学校、サマースクールなど)、仏・仏婦の諸

③「人材育成について」子どもたちへの魅力ある寺院活動の継続・実践の困難さ(盲学校、サマースクールなど)、仏・仏婦の諸



組代表者による決意表明

問題(活動の停滞化、会員の減少傾向。会結成・増員の方策)などが各組共通の関心事として話し合いが挙がった。他にも、過疎問題や教化



話し合い法座の様子

伝道活動に関する意見交換や実状の報告、要望が述べられた。

寺の護持、募財の困難さについても話はおよんでいたが、この組「親鸞聖人七五〇回大遠忌」についての「ご消息」披露・記念法座を機縁とし、新たな決意を胸に各自の意識の向上を図り、積極的に振興計画の取り組みを行うというという熱い思いが各組組長挨拶や組代表者による決意表明にて参加者に伝えられた。

二〇一一年(平成23)年4月9日より本山にて修行される大遠忌法要に向けて、このたびの披露・記念法座で高まったそれぞれの意識を保つために、これから教区、組、寺院がそれぞれどのような活動をしていくかが今後の課題になるのではないだろうか。

# 仏士の活性化をめざす

## 全国大会へ向けて

親鸞聖人七五〇回大遠忌に向け全国連盟の結成をめざす全国仏教社年会では、活動活性化を図る協議会が全国的に開催されている。これを受け、平成18年12月9日、「兵庫教区仏士幹部一泊研修会」と「仏士活動活性化を図る協議会」を同時開催することとなった。教区内仏士会員、近畿6教区の理事ら55人が参加された。

一泊研修会の講師として、加古川組普光寺住職、近藤龍樹師をお招きして、現生正定聚についての研修が進められた。協議会の講師として、仏教社年会活動推進講師・大分教区速見組正善寺住職、藤井邦磨師にお来しいた。

各教区からの活動現況報告が行われた後、参加者が活動活性化について協議を行い、年齢制限、具体的な活動方針、活動し



仏士活性化について熱心に語り合う参加者

11月21日

## 同朋運動50年を振り返る

### 同朋運動推進者養成研修会

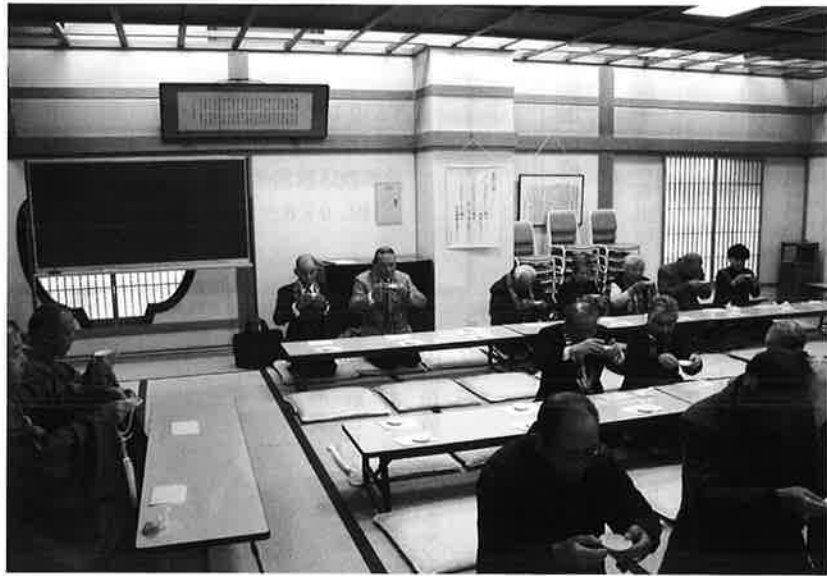
教団役員会(神戸別院にて、14:00より)◆15日(神戸別院常例法座)講師、神戸東組西念寺副高朗師。神戸別院にて、13:30より、16日まで◆16日(「仏婦常任委員会」神戸別院にて、10:30より)◆同朋運動部門会議(神戸別院にて、13:30より)◆17日(「蓮華会理事會」神戸別院にて、10:30より)◆「常備会」神戸別院にて、13:30より◆18日(「団体参拝」大阪教区茨田組浄徳寺/「団体参拝」福井教区早良組教善寺◆19日(「北海道教区真正寺」/「団体参拝」小樽別院念仏奉仕団◆20日(「社会対応部門会議」神戸別院にて、13:30より)◆神戸別院報恩講習礼)本年度の別院報恩講習では、28日の大遠夜法要にて、教区内の特別法務員に出勤して

いただき、行道などの作法を取り入れるの動行をすることが決定しており、この日は、特別法務員に集まっていたいただき、事前の習礼を開催した。神戸別院にて、16:00より/「寺婦運営委員会」神戸別院にて、10:30より◆21日(「教区同朋運動推進者養成研修会」教区各組より選出いただいた同朋講師、並びに養成者を対象に開催。講師には、奈良教区西教寺住職・部落解放研究所研究員藤本信隆師を迎えて同朋運動の歴史を振り返りつつ今後の問題への取り組み等について講義をしていただいた。午後からは、司会に神姫組の榎原正智氏、助言者に講師の藤本氏、パネラーに、朝来組の石田保孝氏、佐用組の竹葉宏典氏、北摂組の門中浄光氏というメンバーで、「運動50年の歴史をふまえてのパネルディスカッション」を実施した。神戸別院にて、10:30より/「保育連盟理事會」神戸別院にて、15:00より◆22日(「団体参拝」東京教区茨城東組教団寺/「教学伝道部門」現生正定聚グループ「作成委員会」神戸

り/「少年連盟報恩講習子ども」のついでスタッフ会議(神戸別院にて、15:00より)◆12日(「青年僧会役員会」神戸別院にて、15:00より)◆13日(「連研部会」神戸別院にて、15:00より)◆14日(「基推組織代表者連絡協議会」神戸別院にて、10:30より)◆「特命布教使任命者会議」神戸別院にて、15:00より◆15日(「別院常例法座」講師、神崎組正善寺、松上隆彰師。16日まで◆17日(「江並教堂報恩講習」江並教堂にて、13:30より)◆18日(「総代会評議員会」神戸別院にて、14:00より)◆19日(「組長会」神戸別院にて、14:00より)◆20日(「団体参拝」姫路南組正福寺八木保育園/「寺婦コーラス推進委員研修」神戸別院にて、13:00より)◆21日(「ビハラー第3連区協議会」津村別院にて/「基推門信徒会運動部門」神戸別院にて、13:30より)◆25日(「基推同朋運動部門」神戸別院にて、14:00より)◆26日(「震災支援報恩講習子ども集い」神戸別院にて、9:30より)◆「現生正定聚グループ編集委員会」神戸別院にて、16:00より/「仏青年忘れヤング広場」三宮にて、18:00より◆27日(「スカウトクラブ第2回仏教章修得講習会」今年度の夏に第1回を開催し、そこに参加いただいた方を対象に、仏教章修得課程の最終確認を行った。参加者は、夏の時点で、まったくとい

いほど、仏教、真宗のことを理解して、いなかったが、約3ヶ月最寄の真宗寺院へ出向き、仏教章修得に取り組んだこともあり、ある程度の理解はしていた、というふうだった。◆28日(「教務所事務終了式」神戸別院にて、12:00

1月1日(「別院元旦会」本願寺神戸別院では、新年1月1日午前7時より元旦会を厳修した。本堂にて、参拝の方々と正信偈を動行した後、会場を総会所に移し、参詣者の



新年をお迎えしての祝杯



まことの保育推進者研修会にて講演中の豊原師

智氏、助言者に講師の藤本氏、パネラーに、朝来組の石田保孝氏、佐用組の竹葉宏典氏、北摂組の門中浄光氏というメンバーで、「運動50年の歴史をふまえてのパネルディスカッション」を実施した。神戸別院にて、10:30より/「保育連盟理事會」神戸別院にて、15:00より◆22日(「団体参拝」東京教区茨城東組教団寺/「教学伝道部門」現生正定聚グループ「作成委員会」神戸

り/「少年連盟報恩講習子ども」のついでスタッフ会議(神戸別院にて、15:00より)◆12日(「青年僧会役員会」神戸別院にて、15:00より)◆13日(「連研部会」神戸別院にて、15:00より)◆14日(「基推組織代表者連絡協議会」神戸別院にて、10:30より)◆「特命布教使任命者会議」神戸別院にて、15:00より◆15日(「別院常例法座」講師、神崎組正善寺、松上隆彰師。16日まで◆17日(「江並教堂報恩講習」江並教堂にて、13:30より)◆18日(「総代会評議員会」神戸別院にて、14:00より)◆19日(「組長会」神戸別院にて、14:00より)◆20日(「団体参拝」姫路南組正福寺八木保育園/「寺婦コーラス推進委員研修」神戸別院にて、13:00より)◆21日(「ビハラー第3連区協議会」津村別院にて/「基推門信徒会運動部門」神戸別院にて、13:30より)◆25日(「基推同朋運動部門」神戸別院にて、14:00より)◆26日(「震災支援報恩講習子ども集い」神戸別院にて、9:30より)◆「現生正定聚グループ編集委員会」神戸別院にて、16:00より/「仏青年忘れヤング広場」三宮にて、18:00より◆27日(「スカウトクラブ第2回仏教章修得講習会」今年度の夏に第1回を開催し、そこに参加いただいた方を対象に、仏教章修得課程の最終確認を行った。参加者は、夏の時点で、まったくとい

いほど、仏教、真宗のことを理解して、いなかったが、約3ヶ月最寄の真宗寺院へ出向き、仏教章修得に取り組んだこともあり、ある程度の理解はしていた、というふうだった。◆28日(「教務所事務終了式」神戸別院にて、12:00

1月1日(「別院元旦会」本願寺神戸別院では、新年1月1日午前7時より元旦会を厳修した。本堂にて、参拝の方々と正信偈を動行した後、会場を総会所に移し、参詣者の

方々と新年の挨拶をし、祝杯の乾杯をした。神戸別院にて、7:00より◆4日(「江並教堂修正会」江並教堂にて、13:00より)◆9日(「教務所事務開始式」神戸別院にて、9:00)◆11日(「門推第3連区研修協議会事前打合せ会」神戸別院にて、16:00より)◆15日(「別院常例法座」講師、姫路南組法性寺、池本史朗師。16日まで。◆17日(「阪神・淡路大震災総追悼十三回忌法要」神戸別院にて、13:30より

# 神戸別院報恩講厳修

去る平成18年11月27日～29

日までの3日間、講師に、大阪教区茨木東組西福寺から藤大慶師をお迎えして、神戸別院報恩講が厳修された。

毎年、別院報恩講では、法中として教区内僧侶にご出勤いただき、各法要を厳修してきたが、今年から、28日の大速夜法要に限り、教区内におられる特別法務員が出勤し、「行道」の作法を取り入れることとなった。

「行道」とは、声明を唱えたり散華をしながら、ご本尊の周囲を右回り(時計回り)に歩む作法(法式規範)よりのことであり、11月20日にはこの作法をよりきれいに言うことを目的として、出勤いただく特別法務員の方々に集まりいただき、本番さながらの習礼を行った。

当日は、大速夜ということもあり、200人近い参拝者が来られ、このような作法があることを初めて知ったといった声、も多くの声も聞かれた。

日中法要、大速夜法要の後には、恒例の行事としてすっきり定着した、教区仏婦と寺婦の方々による「仏教讃歌のつどい」が、報恩講に色を添え、その後1階のホールでは、今年も教区内の寺院やご門徒の方々に沢山の品物を

いただき、神戸別院仏壇の方々のご協力で「チャリティバザー」が開催され、例年のごとく盛況の様子だった。バザーが開催されている隣では、別院仏婦の方々の手作りで、お斉の接待をさせていたのだ。

3日間で、述べ約550人の方々のご参拝をいただいた。

今年で12回目を迎える「震災支援 報恩講子どもの集い」が12月26日、本願寺神戸別院で開催された。

この「報恩講子どもの集い」は、平成7年に発生した阪神・淡路大震災で被災された子どもたちの心の支援と、各単位の子ども会の活動の活性化を目的として始められた。

今回は近くの湊川保育園からも団体で参加があり、幼稚園・保育園児から中学生までの子ども達が241名、保護者、日校指導者、引率者が112名、スタッフが62名集まり、総勢415名が集いに参加された。

28日大速夜にて、「行道」の様子



みんなで仏教讃歌を歌いました

午前中は本堂で式典が催され、参加者全員が手作りのお花(ティッシュフラワー)を飾り付けにお供えした。続いて代表48人がロウソクの灯りを供えた。尊前に五具足の荘厳を行なった後、参加者全員で正信偈をお勤めした。兵庫教区少年連盟池本委員長が法話をおこない、子どもたちは仏様のお話を真剣に聞き入っていた。式典後は1階ホールにて模擬店形式の昼食会。婦人会の皆様が前日から400人分のカレーライスを作ってくだ



報恩講子どもの集いにて。ゲームは大盛り上がり!

## みんなでたのしく報恩講

### 子どもたちによる報恩講開催

今年で12回目を迎える「震災支援 報恩講子どもの集い」が12月26日、本願寺神戸別院で開催された。

大喜びで何度もおかわりをしていた。

この時間の一番人気は「スーパーボールすくい」で、食事をすませた子どもたちら順番に大行列をつくって楽しんでいた。

午後からは親子引率者揃って劇団みのむしの操り人形劇

を観賞した。1時間の演劇後子どもは広いホール全体を使うためのゲーム大会、大人は本堂にあがつて法座が設けられた。この度の講師には備後教区御調西組光徳寺より藤田徹文師をむかえ、「人間の目・人間の耳」の題で講演いただいた。

この子どもを集いと、サマースクールを通じて仲良くなった子ども達もたくさんいて、帰り際に「またね、今度はサマースクールで会おうね!」と口々に約束しているのが非常に印象的だった。



10月3日

# 仏婦活動の中心に現生正定聚を 〜 仏婦単位会長研修会 〜

10月1日【団体参拝】朝来組教蓮寺仏教婦人会◆2日【少年連盟役員会】神戸別院にて、15：00より／【団体参拝】タビックスジャン◆3日【団体参拝】山口北組研修会参拝／【仏婦単位会長研修会】教区内の仏婦連盟に登録している各単位の会長を対象に行われる研修。本年度は、400人近い参加者が来られた。講師には、6月に着任された松村彰道兵庫教区教務所長をお招きし、新しくスタートした教区教学テーマ「現生正定聚」をどの様に伝えていくのかを中心に話法をいただいた。その後、加古川組の鹿多証道師の指導のもと、仏教讃歌の時間をもち、講演・質疑応答として、仏婦連盟講師の鳥羽幸子師による機関誌「めぐみ」を用いたの講義をいただいた。この研修を通して、今後「現生正定聚」を中心に活動を進めていくことが確認された。／【光明園慰霊祭】邑久光明園にて、13：00より◆4日【光明園火葬場追悼法要】邑久光明園にて、7：00より／【近同推参婦研修会】神戸別院にて、15：00より◆5日【団体参拝】岐阜教区門徒推進員連絡協

まで◆17日【基推教学伝道部門会議】神戸別院にて、15：00より◆18日【団体参拝】安芸教区高田北組総代会／【団体参拝】椿会（真宗大谷派妙覚寺仏教婦人会）／【団体参拝】熊本教区球磨組念仏奉仕団◆19日【団体参拝】大阪教区河の中北組称名寺／【団体参拝】山口教区都農西組念仏奉仕団◆20日【組長会】神戸別院にて、10：30より／【基推遺骨調査報告会】日本政府からの依頼により、戦前・戦中に東アジアから強制徴用で、日本に連れてこられた方々のご遺骨の調査について、各寺院への調査依頼内容等の説明会が行われた。参加対象者として、各組組長、組相談員に出席いただいた。神戸別院にて、14：00より／【団体参拝】東海教区桑名組法盛寺仏教讃歌の会／【団体参拝】朝来組浄願寺仏教婦人会◆22日【総代会】阪神・神戸ブロック研修会



遺骨調査について説明する井上同朋部長

師、宍粟組教専寺・大西耕雲師。神戸別院にて、10：30より／【初参式】石橋あおい様・ひすい様。神戸別院にて、14：00より／【団体参拝】岡山南組西方寺仏教婦人会◆24日【総代会姫路ブロック研修会】講師、揖龍東組浄蓮寺竹内俊之師。姫路中組法性寺にて、10：30より◆25日【団体参拝】東海教区桑名組門徒総代会◆26日【矯正教化幹事会】神戸別院にて、14：00より◆28日【近畿ブロック保育大学講座】和歌山白浜にて、29日まで◆29日【門徒推進員第43回研修会】

今回は、朝来組如来寺を会所として開催された研修会は講師に揖龍西組明正寺の堀正昭師をお迎えして、「門徒推進員の役割」というテーマを進めていった。講師からの講義の後、午後から分科会に移行。活発な意見交換がされる分科会となり、発表された内容にご講師も門推に望み思いを伝えられ、大変意義のある研修会となった。また、仏教讃歌の時間では、善段からコーラスで指導されている、如来寺の坊守様が自らオルガンを弾かれ讃歌指導をしていた。参加者は72名、内お二人は門推の方の所属寺族の方々。◆30日【総代会東播ブロック研

修会】講師、揖龍東組浄蓮寺・竹内俊之師。加古川市民会館にて、10：30より◆31日【近畿ブロック寺族婦人会研修会】和歌山教区にて  
11月2日【社会福祉推進協議会常任委員会】神戸別院にて、13：30より◆3日【団体参拝】滋賀教区彦根組唯称寺◆4日【別院第一土曜仏教講座】講師、大阪教区観念寺住職・お寺の  
出前の会代表・宮本直樹師、講題「話すこと・聴くこと・寄り添うこと」。神戸別院にて、13：30より／【団体参拝】安芸教  
のコーラスの方々が、事前に練習会を神戸別院にて、指導員に加古川組妙正寺・鹿多証道師、阪神西組源光寺・釋氏清子師のお二人を指導講師に招き仏教讃歌の練習をされた。◆9日【団体参拝】佐賀教区巨瀬組宝月寺／【兵庫教区巨瀬組】神戸別院にて、13：30より◆10日【団体参拝】北海道教区空知組教證寺◆11日【団体参拝】和歌山教区和歌山東組総代会／【まことの保育推進者研修会】兵庫教区保育連盟登録園の保育士幼稚園教諭の方々を対象として、講師に阪神西組西福寺の豊原大成師をお迎えして開催された研修会。豊原師が執筆された「ジャーナカのエほん」を用いて、「ジャーナカのエほんに学ぶ」というテーマでお話をいただいた。神戸別院にて、13：30より◆13日【布

10月29日

## 朝来組に教区門推が集まる 〜 門推第43回研修会 〜



門推第43回研修会の様子